

【広島市消費者物価指数】

1 平成24年12月の動向

- 広島市総合指数（98.7）は前月比で2か月連続の下落。前年同月比は7か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.0）は前月比で2か月連続の下落。前年同月比は8か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.7）は前月比で8か月連続の下落。前年同月比は16か月連続の下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	98.7	▲0.2	▲0.9
生鮮食品を除く総合指数	99.0	▲0.3	▲0.7
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	97.7	▲0.3	▲1.1

3 前月からの動き

～交通・通信は上昇、家具・家事用品、教養娯楽は下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	98.7	98.4	99.1	105.7	90.4	101.8	98.4	100.6	98.4	91.5	103.1
前月比 (%)	▲0.2	▲0.1	0.0	▲0.1	▲2.4	▲1.0	0.1	0.3	0.0	▲0.7	▲0.1
寄与度	▲0.2	▲0.03	0.00	▲0.01	▲0.09	▲0.04	0.00	0.05	0.00	▲0.07	▲0.01

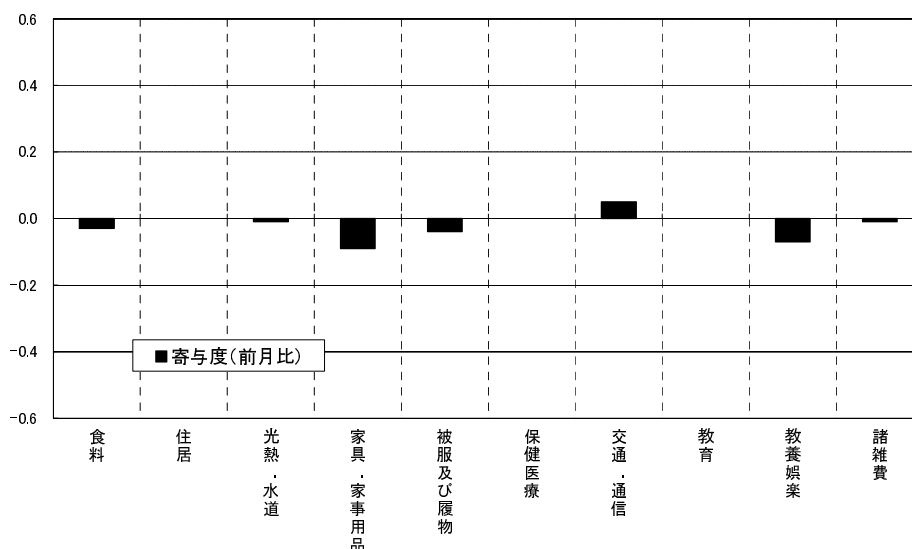
(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

交通・通信：自動車等関係費（前月比 0.4%，寄与度 0.03）等

家具・家事用品：家庭用耐久財（前月比 ▲5.1%，寄与度 ▲0.07）等

教養娯楽：教養娯楽用耐久財（前月比 ▲2.9%，寄与度 ▲0.04）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
果物 (みかん 等)	9.8%	家庭用耐久財 (ガステーブル 等)	▲5.1%
野菜・海藻 (ほうれんそう 等)	3.0%	魚介類 (あじ 等)	▲3.3%
身の回り用品 (ハンドバッグ 等)	3.8%	調理食品(焼き魚 等)	▲1.8%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	0.4%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲2.9%
交通 (航空運賃 等)	0.8%	理美容用品 (ヘアコンディショナー 等)	▲2.3%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道は上昇，教養娯楽，食料は下落。～

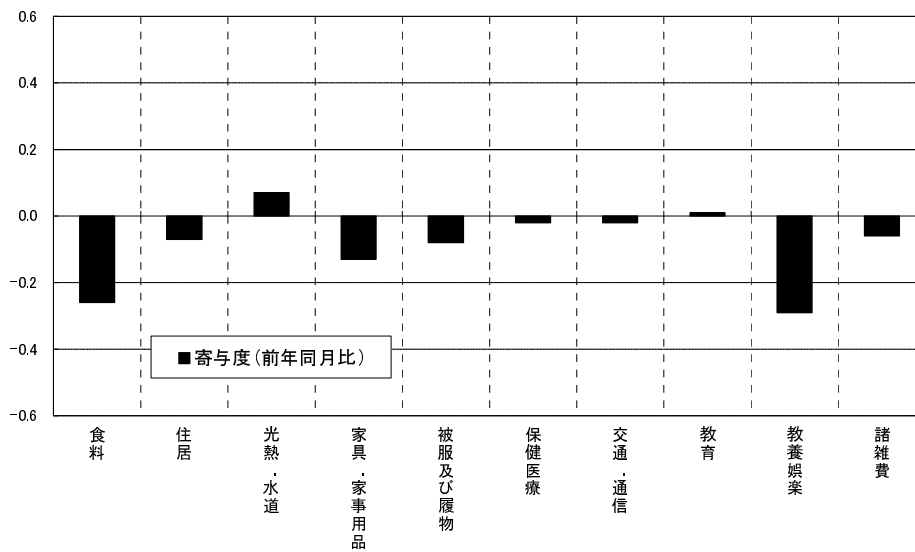
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲0.9	▲1.0	▲0.4	0.9	▲3.6	▲1.8	▲0.5	▲0.1	0.2	▲2.7	▲0.9
寄与度	▲0.9	▲0.26	▲0.07	0.07	▲0.13	▲0.08	▲0.02	▲0.02	0.01	▲0.29	▲0.06

(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目

- 光熱・水道：ガス代 (前年同月比 2.4%，寄与度 0.05) 等
- 教養娯楽：教養娯楽サービス (前年同月比 ▲2.8%，寄与度 ▲0.17) 等
- 食料：野菜・海藻 (前年同月比 ▲4.6%，寄与度 ▲0.12) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費 (ガソリン 等)	1.5%	教養娯楽サービス (インターネット接続料 等)	▲2.8%
果物 (みかん 等)	8.1%	通信 (携帯電話機 等)	▲3.6%
ガス代 (都市ガス代 等)	2.4%	野菜・海藻 (ねぎ 等)	▲4.6%
家事雑貨 (マット 等)	3.2%	魚介類 (ぶり 等)	▲4.7%
穀類(うるち米 等)	1.3%	家庭用耐久財 (電気冷蔵庫 等)	▲7.0%